

お茶大での一学期

慶北大学校

クォンヘジ

k2490041

お茶大に来てからもう3ヶ月が過ぎました。楽しい時間というのは本当にあっという間に感じられるものです。留学期間を延長したい気持ちはありますが、母校での卒業があるため叶わないのが残念です。

私が交換留学先としてお茶大を選んだ理由は以下の通りです。

第一に、私はこれまで女子学校に通ったことがありませんでした。そのため、女子学校の生活が共学校とどのように違うのか興味がありました。そして、お茶大の雰囲気は私が想像していた以上に満足できるものでした。平等な環境の中で、学生全員がそれぞれの夢を追い、学業に真摯に取り組む姿はとても印象的でした。また、ジェンダー学セミナーが定期的開催されることや、トランスジェンダー学生の入学を認めるなど、平等な機会を提供するために努力している点でも大変感銘を受けました。

第二に、東京という大都市で様々な人々に出会いたいと思ったからです。現在の東京に対する私の印象は、多様性と活気にあふれた街ということです。キャンパス内でも、多様な国籍や背景を持つ学生たちと友達になり、多くの話を交わすことで視野を広げることができました。

第三に、課題を中心とした授業を受けたかったからです。韓国の大学ではテストが評価基準となる授業がほとんどですが、データサイエンス専攻の私にとってこの点はいつも物足りなく感じていました。なぜなら、データとは統計量の種類によって分析結果が大きく変わることがあり、正解が決まっているテストよりもプロジェクトを通じて学ぶ方が多くの知識を得られる学問だからです。お茶大では多様な課題を通して、たくさんの知識を身につけることができました。

もちろん、留学生活には困難もありました。私は留学生活を始める前からうつ病を抱えており、留学中に病状が悪化して大変な時期がありました。その際、萩原先生が学生相談室を紹介してくださり、カウンセラーの方々と話す中で少しずつ克服することができました。この場を借りて、萩原先生とカウンセラーの方々に改めて感謝の意を伝えたいです。

また、LE先生と研究室の皆様にも感謝申し上げます。LE先生はいつも私の状態を気にかけてくださり、様々な行事に招待してくださいました。研究室の学生たちも私のことを温かく迎えてくれて、本当にありがとうございました。もし再びお茶大で留学することがあれば、ぜひこの研究室を選びたいと思います。

最後に、音羽館の職員の皆様にも心より感謝申し上げます。皆様のおかげで、一学期の間、快適な寮生活を送ることができました。私の大学生活の中で、最高の寮生活でした。

お茶大で過ごした幸せな一学期、この思い出をこれからも大切にしていきたいと思います。

